

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		個人市民税賦課事務			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	010301000714
		政策体系上の位置付け			単独/補助	単独		020301
政策体系	総合計画の施策名	0103 健全な財政運営の推進			主要事業	対象外	所属課	税務課
	政策名	01 市民と行政による豊かな地域の自治づくり			市長マニフェスト	対象外		
	施策名	03 健全な財政運営の推進			未来PJ事業	対象外	グループ	市民税グループ
	基本事業名	01 財源確保対策の推進			合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	02	02	02	01	00	賦課事務事業	
法令根拠	地方税法、桜川市税条例				事業期間			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)				単年度繰返し (平成17年度~)			
					← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当が行う業務の内容・やり方・手順	
	地方税法、桜川市税条例に基づき1月1日現在に桜川市に住所がある方に対して、課税資料をもとに住民税を賦課決定し、納税通知書の送達を行う。 当初賦課後は、未申告者や課税誤りの調査、課税資料に基づく税額の変更、徴収方法の変更等を行う。 また、例年2月中旬~3月中旬にかけて申告相談を実施するが、平成27年分の申告から会場を大和中央公民館に一本化している。(H26年分までは岩瀬・真壁・大和3か所で開催)		賦課期日(1月1日)における納税義務者を把握する 1月~2月 給与支払報告書の整理、申告会場の準備 2月~3月 申告相談、賦課資料のシステム投入 4月~5月 賦課資料のシステム投入、特徴税額決定通知書の発送 5月~6月 賦課資料のシステム投入、普徴税額決定通知書の発送 7月 未申告者の調査 8月~12月 各種調査(扶養親族の誤りなど) 【例月事務】徴収方法の切り替え事務、申告書等に基づく税額の異動、還付、年金特徴者の異動、変更分の税額決定通知の発送	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
住民税の正確な納税義務者の把握及び課税額の確定を行ない納税通知書の確実な送達を行なう							確定・住民税申告受付件数		件	5,416.00	5,300.00	5,430.00	5,400.00	5,400.00
							賦課調定額		千円	1,731,176.00	1,746,427.00	1,689,212.00	1,671,921.00	1,652,742.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
納税義務者							納税義務者数		人	20,778.00	20,809.00	20,800.00	20,800.00	20,800.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
適正な課税をする							財政力指数		%	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移				27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	16,837	15,466	16,563	16,563	16,563
	事業費計(A)	千円	16,837	15,466	16,563	16,563	16,563		
人員費	正規職員従事人数		人	6.00人	6.00人	6.00人	6.00人	6.00人	
	述べ業務時間		時間	8,500.00	7,659.00	7,300.00	7,250.00	7,200.00	
	人員費計(B)		千円	24,659	22,219	21,177	21,032	21,298	
トータルコスト(A)+(B)			千円	41,496	37,685	37,740	37,595	37,861	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)				29年度事業費 予算 (千円)				
	07 賃金	500			07 賃金	714			
	09 旅費	9			09 旅費	12			
	11 需用費	431			11 需用費	286			
	12 役務費	100			12 役務費	105			
	13 委託料	7,503			13 委託料	7,762			
	14 使用料及び賃借料	1,232			14 使用料及び賃借料	1,955			
	19 負担金補助及び交付金	691			19 負担金補助及び交付金	729			
	23 償還金利子及び割引料	5,000			23 償還金利子及び割引料	5,000			
	合計				15,466	合計			

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業				

事務事業名	個人市民税賦課事務	事務事業No.	10301000714	所属課	税務課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 地方自治による自主財源確保のため昭和25年の地方税法に基づき開始した事務である。 税率等は法改正により随時変化している。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 申告相談について、岩瀬地区・真壁地区の方から大和の申告会場までくることが難しいという意見が数件あった。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 職員の間外業務量の削減のため、臨時職員の賃金を予算措置する。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 健全な財政運営を行うための財源の確保に直結している。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 個人市民税は納税義務者が市に納める税であり、地方税法で課税権を地方自治体と定めているため。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 税法に基づき個人の前年中の所得に対して課税する事務であり、成果を向上させる余地はない。 課税誤りの調査や未申告者の調査を随時行っている。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 税収が減少する。また、県税とあわせて賦課徴収を行っており、市税のみ事業を廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 1月末から5月末までの繁忙期に時間外勤務が増える。 繁忙期は臨時職員を雇用し、時間外業務の削減をはかっている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 賦課決定事務であり、受益者負担は発生しない。 また、税法で定められた税率により計算しており公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 申告期間後の業務量を削減のため、平成29年度から臨時職員の人件費を追加で予算措置した。4月中旬より被扶養者の結び付け作業を行う。 平成28年分の申告書から個人番号の記入が必要になったが、事前に市民への周知を行い、申告期間中は大きな問題もなく申告相談を終えることができた。今後個人情報の管理に一層注意を払う。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---